

# 日本の臓器移植に未来はあるか？

湯沢賢治 先生

日本移植学会 副理事長

国立病院機構水戸医療センター 臨床研究部長 移植医療研究室長

平成29年3月2日（木）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

臓器移植は臓器不全患者を救う唯一の根治的治療である。しかし、臓器提供者が必要であるという点で他の医療と根本的に異なり、広く社会で臓器提供についてのコンセンサスが求められる。

日本は多くの医療分野で世界をリードしているが、こと臓器移植に関しては、極めて臓器提供が少なく、世界で最も遅れている。1997年に臓器移植法は施行され、2010年に改正されたが、臓器移植を必要としている患者のためには全くなっていない。他国で助かる患者が日本では亡くなっている。マスコミは、この悲劇的な現実を報道せず、性懲りもなく外国に移植を受けに行くための何億円もの募金運動に力を貸している。

こんな社会で良いのだろうか？ 日本の臓器移植に未来はあるのだろうか？この現実と課題について述べる。

今回の勉強会では、水戸医療センター 湯沢賢治先生に「日本の臓器移植に未来はあるか？」の演題で、お話していただく予定です。今回に限り、木曜日の開催になります。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）の一部となっています。

連絡先：筑波大学医学医療系  
福祉医療学  
柳 久子

TEL&FAX： 029-853-3496